

# 女性の議席を守り抜く 強い思いで4期目へ挑戦

## 風だより

県議会議員はくいし恵子の



発行者 島根県議会議員  
はくいし恵子  
2018年8月1日発行  
拡大版 VOL.23

### (はくいし) 事務所

〒690-0882  
松江市大輪町414-12  
TEL・FAX  
0852-23-0880

HPアドレス

http://  
www.hakuishi.  
sakura.ne.jp/  
index.html

※是非、お立寄りください。

## 都会の便利ではなく 心豊かで安心の島根をつくりたい

暑中お見舞い申し上げます。

近年は毎年梅雨末期には、梅雨前線に台風が接近して線状降雨帯が発生、日本のどこかで災害が起きていて、日本列島は災害列島になってしまったのか、と心配になります。

自然災害だけでなく、日本の政治もひどい状況

去りにした政治が続いていると感じています。

政治は混乱し、昨年の衆議院選挙時、突然民進党が希望の党と合流、その後立憲民主党が立ち上がる、という寝耳に水の出来事が起こりました。

現在私たち地方議員は「立憲民主党」「国民民主党」に分かれることを余儀なく

かどうかは、自分自身とても悩みました。年齢的に若い人に代わるべきではないかという思いが大きな理由です。

しかし最終的には「やっぱり女性の議席を守りたい」という思いが勝り、4期目に挑戦する決断をしました。



が続き、都市と地方の格差は広がり、子どもの貧困も有効な手段は見いだせずにいます。

東日本大震災の復興は7年経っても道半ば、福島第一原発の事故処理も遅々として進んでいないのに原発の再稼働を目指す新規制基準審査合格は次々出され、国民の願いを置き

くされ、私は自治労組織内議員として「立憲民主党」に席を移しました。しかし地方議員はやむなく分かれざるを得なかった

ので、これからも力を合わせて地域のために頑張っています。さて来年4月には県議会議員選挙の年が巡ってきます。4期目に挑戦する

今年5月16日に「政治分野における男女共同参画推進法」が成立。罰則なしの理念法ですが、各政党にできる限り候補者を男女均等にすることを求めるものです。しかし、まだまだ女性が議員に立候補するにはハードルが高いのが現実です。それは長らく社会的に男性の補助的役割を担わされてきた女性の当然の反応とも言えます。

今でも学校では男女平等でも、社会に出た途端男女の間に立ちほだかる壁を感じると思っています。しかし経済的な必要性からであれ「女性活躍推進法」も成立し、「ワークライフバランス」に取り組む

会社も増えました。少しずつ環境は整ってきており、きつと近い将来女性の候補者が出てくると信じて、もう少し頑張ります。

県民の誰もが暮らしやすい島根県にするには、県民の半分以上を占める女性の思いが届く議会であればなりません。そうでなければ、女性も男性も若者も、子どもも高齢者も、障がいのある人もない人も、みんなが個人として尊重され、自分らしく生きていける島根県にならないと思います。

島根県は長らく人口減少や高齢化に悩み、県民の生活を守っていくために様々な努力を重ねています。でも人口減少はこれからも続いていくでしょう。最低限のインフラの確保をしつつ、多少は不便でも近隣の人々が助け合い、声を掛け合つて暮らせる持続可能な暮らしへと転換を図っていきませんか。

生活に密着した女性の知恵と知識を集め、都会のように便利でなくても暖かく心豊かにゆったりと安心して暮らせる道を探りたいと思います。4期目に向けて、心を引き締め走ってまいりますので、どうぞ力強い応援を頂きますようお願い申し上げます。

## 県民の半数は女性 女性の思いが届く県議会へ

## 「はくいし」勝利に向けて・後援会からのお願い

早いもので春の県議選挙まで残り8ヶ月となりました。3期目の得票は当選できるような票数ではありませんでした。

- 投票に行ってください  
3期目の投票率は53%と異常に低く、2人に1人しか投票に行っていない。「はくいし」の勝利は投票に行っていたからこそ始まります。
- これまでに支援をお願いした方への再確認を  
これまでの選挙でご支援をお願いしていた方へ、今一度ご支援をお願いして下さい。
- 年賀状を活用して下さい  
年賀状を出される時に「はくいし」への支援の言葉を一筆書いて下さい。
- 支援の輪を広げて下さい  
声かけしていない友人、

知人などがあればさらにもう一度声をしていただけませんか。  
●県議選挙に関する情報の提供を  
各地域や職場で県議選挙に関する動きなどあれば事務局へ連絡していただければ喜びます。

後援会も勝利を目指して最大の努力をしていますが、みなさまの力添えなくして勝利することはできません。どうかさらなるご支援、ご協力を心よりお願いいたします。



島根県議会議員(松江選挙区)

# はくいし恵子

活用して下さい

## 「はくいし恵子」が4期目に向けて 熱く決意を語ります

# 「県政報告会」

10月27日(土) 14時～

島根県職員会館・多目的ホール(2F)

松江市殿町1・県立武道館西側

講師 京村まゆみさん  
演題 「森のようちえん」について



### 講師プロフィール

昭和38年2月 サンパチ豪雪の冬、松江市に生まれる  
昭和64年 浜田夕日ヶ丘幼稚園 教諭  
平成2年3月 浜田夕日ヶ丘幼稚園退職  
左鏡京村牧場へ・4人息子の母  
元津和野町議会議員  
現在 山の子ども園「うしのしっぽ」園長

### 主催

- はくいし恵子とともに歩む会
- はくいし恵子としまねを元気にしようネットワーク
- 島根県職員連合労働組合



# はくいし恵子の県議会報告



## 6月県議会

一般質問から抜粋  
(6/12~7/6)

## 2月県議会

一問一答から抜粋  
(2/19~3/15)

### 働き方改革は時間外縮減から 人を幸せにする改革を

質問・県立図書館のビジネス支援について

質問・県立図書館のビジネス支援について

質問・県立図書館のビジネス支援について

質問・県立図書館のビジネス支援について

質問・県立図書館のビジネス支援について

講習会を行っている。企業向けの周知は商工労働部のガイドブックで紹介。

また、図書館主催のセミナーでの説明、関係機関の会議に出席して説明もしている。県民への周知はフォトしまね、図書館だよりで紹介。県内公立図書館の会でも周知した。

(3)ビジネスに関する部署や機関、金融機関等との連携はどうか。

【教育長】身近な施設としてポータルとしての役割を担っている。その中でより専門的な相談は産業支援機構に繋いでいる。実際に起業された事例もある。さらに関係11団体と

もにビジネス支援サービス協議会を設置し、さらに取り組んでいく。金融機関とは今後、説明会を開催する予定としている。

(4)担当司書は配置されているが専従ではないので忙しいとは思いますが、もっと力をつける為に、熊谷図書館で勧められたビジネスライブラリアン講習会に参加してほしいがどうか。

【教育長】平成30年度予算で参加経費をつけている。質問・県職場での働き方改革について

【教育長】平成30年度予算で参加経費をつけている。質問・県職場での働き方改革について

【教育長】平成30年度予算で参加経費をつけている。質問・県職場での働き方改革について

【総務部長】管理職の時間外削減の意識と具体的な行動が求められている。また職員には健康や家庭との両立につながる意識することは大切。

様々な機会に研修を行ってきたが、改革事例や効果的な取り組みを示し、さらに進めていきたい。

民間では思い切った業務削減で返って業績が上がった例、国や他県では立ったままの会議で時間短縮と集中化を図った例がある。様々な例を参考に実行していただきたい。

質問・デートレイプドラッグ対策について



質問・「森のようちえん」について

【健福部長】森のようちえんは、自然の中で保育を行い、保育者が見守るだけで、遊びやルールを決めることは、出来るだけ子どもの自発的な発想や考えを大切に

わが県では犯罪発生はないが、大学進学や就職で都会に出た島根の子どもたちが被害に合わないよう予防教育をしっかりとすること、万一県内で犯罪があれば、被害者に寄り添った支援をすること、その為の警察職員への丁寧な研修と証拠採取できる取り

【警察本部長】被害者の心情に配慮できるよう研修し、被害者に真摯に対応

【健福部長】被害者の心情に配慮できるよう研修し、被害者に真摯に対応

【健福部長】被害者の心情に配慮できるよう研修し、被害者に真摯に対応

### デートレイプドラッグ対策 被害者に寄り添った支援を

被害者に寄り添った支援を

被害者に寄り添った支援を

【健福部長】生きる力を養う望ましいもので、保護者の選択の幅が広がる。現時点では森のようちえんに特化した認証制度は考えていないが、情報収集・普及をしていく。

【健福部長】彼らの活動は先駆的で象徴的。若者世代を勇気づける活動で、広く共感を得やすい。今後作成するパンフレットに取り上げ、紹介の仕方を工夫し、物産館での販売展示も見直していきたい。

【健福部長】彼らの活動は先駆的で象徴的。若者世代を勇気づける活動で、広く共感を得やすい。今後作成するパンフレットに取り上げ、紹介の仕方を工夫し、物産館での販売展示も見直していきたい。

【健福部長】彼らの活動は先駆的で象徴的。若者世代を勇気づける活動で、広く共感を得やすい。今後作成するパンフレットに取り上げ、紹介の仕方を工夫し、物産館での販売展示も見直していきたい。

【健福部長】彼らの活動は先駆的で象徴的。若者世代を勇気づける活動で、広く共感を得やすい。今後作成するパンフレットに取り上げ、紹介の仕方を工夫し、物産館での販売展示も見直していきたい。

【健福部長】彼らの活動は先駆的で象徴的。若者世代を勇気づける活動で、広く共感を得やすい。今後作成するパンフレットに取り上げ、紹介の仕方を工夫し、物産館での販売展示も見直していきたい。

【健福部長】彼らの活動は先駆的で象徴的。若者世代を勇気づける活動で、広く共感を得やすい。今後作成するパンフレットに取り上げ、紹介の仕方を工夫し、物産館での販売展示も見直していきたい。

【健福部長】彼らの活動は先駆的で象徴的。若者世代を勇気づける活動で、広く共感を得やすい。今後作成するパンフレットに取り上げ、紹介の仕方を工夫し、物産館での販売展示も見直していきたい。

【健福部長】彼らの活動は先駆的で象徴的。若者世代を勇気づける活動で、広く共感を得やすい。今後作成するパンフレットに取り上げ、紹介の仕方を工夫し、物産館での販売展示も見直していきたい。

## 議事堂見学会を開催

県職連合は6月4日、5日に県議会の見学会を行い、36名の参加がありました。近くにあるけど意外に知らない議事堂。議場、会議室、委員会室、議員控室、図書室などを議会事務局の方とはくいし県議に案内していただきました。はじめは敷居が高いと緊張気味の参加者も後半は和やかに。お昼は別館の大会議室で弁当を食べながら交流しました。



感想文から  
議場だけでなく、第1会議室、委員会室、控室まで見学することができ、今まで遠い存在だった「議会」をリアルに感じることができました。白石さんに議会での様子を直接伺うこともでき、とても興味深く有意義な時間になりました。

員・家族・お客を幸せにするために行う」と言っておられた。県職員も、心身ともに健康で幸せでなければ、県民を幸せにする良い仕事はできないと思う。ややもすると方法であ

るはずの時間外削減が目的化しがちだが、職員が幸せになるための働き方改革であり、その為の時間外削減であることを肝に銘じて実行して頂きたい。

### 障害者の雇用を拡大

質問・県職員採用における障がい者区分について  
H31年度から、身体障がいだけの採用を、全ての障がい者に広げることが決まっております。8月下旬には募集が始まるので、制度の概要を聞きたい。  
【総務部長】全障がい

し、次の担い手育成にも効果がある。



### 会派の県内調査

## 自然の中で本物の命を知り 本物の生きる力を作る

### 〔Ⅰ〕「森のようちえん」

5月17日、津和野町左鏡の森のようちえん「うしのしっぽ」を訪ねました。

「うしのしっぽ」は京村牧場をフィールドとして保育を行う「森のようちえん」です。京村牧場は繁殖牛87頭、肥育牛61頭、子牛55頭を有する小さな山の上にある、肥育牛をブランド化「熟女牛」として売り出している。

います。従業員3人、家族5人で経営されています。その牧場を「森のようちえん」として利用。きっかけは2007年に地域の保育所が休園したこと、夏の「サブミ合宿」や「放課後牧童」といった子ども体験学習の取り組みを経て、2013年自然の中で子どもを育てたいと思うお母さん達の認可外共同保育所として園児2名でスタート。その後、休園した園舎を借りて地域型小規模保育所の認可を取り、2017



年に牧場敷地内に新園舎を建設、今年度は19名の定員とし、現在17名が在籍しています。

山の中で、本物の命と出会い、本物の生きる力を引き出す保育の様子を見せてもらいましたが、山の斜面を走り回り、木に登り、さくらんぼを取って食べる子ども達は活き活きと輝いていました。

園長の京村さんは「今日何を遊ぶかは子ども達が決める。保育者は見守るだけだが、子ども達と大人がいるところで遊ぶ約束をしている。たき火や、かまどで煮炊きもする。卒園時には子ども達が味噌汁とご飯を作った親に振る舞う。」

0歳児から保育をしているが、歩き始めから斜面を上り下りするので体幹がしっかりと、転び方も

上手になる。木や石などを色々に見立てて遊ぶので友達に説明が必要になり、「コミュニケーション能力が身につく」と話されています。牛の出産に立ち会うこともあり、命の神秘や出産について子どもなりに考えることにも繋がっているそうです。

子ども達の生涯の健康の基礎となる身体と運動能力を獲得し、お互いに助け合い、達成感や共同で取り組む楽しさを経験する自然保育は幼児期からの「生きる力」を育む教育だと感じました。

スマホやゲームとは対極にある豊かな自然に育てられる子ども達は本当に幸せだと思えます。県内でもこういう保育園が増えるといいと思います。

4月25日、仁寿会加藤病院（川本町）を視察しました。他に開業医や在宅介護事業所などのない地域で、医療と介護両方のサービスを一手に担っておられます。2011年には山陰で唯一の「僻地医療分野社会医療法人」の認可を受けられています。

また、昨年度から県の圏域課題解決推進事業（しづな型医療提供体制構築事業）を実施、川本町だけでなく美郷町、大田市までの広域でサービスを提供されています。

地域で病院連携協定を結び、まめネットやWEB会議などのICTを活用しながら、医療・看護・介護・リハビリ・保健・予防までを網羅したサービス展開を実施、特に在宅での生活を重視。訪問看護、訪問介護については24時間365日サポート体制です。

生活支援・福祉サービスとして、標準食支援メニュー作成など栄養面からの支援、本人の選択と

「すまい」にも手を伸ばされ、病院の近くに医療近接型住居「穩」を最近建設、退院してすぐに自宅にはなく、病院の近くに居住してリハビリなどに通い、家に帰って生活する自信を付けることを目的とされています。

職員の働く環境としても優れていて、次世代育成支援対策高水準事業所プラチナくるみん、「ホワイト企業」や若者雇用優良事業所ユースエールにも認定されています。

仁寿会の職員数は、220人。常勤医師数は11人ですがまだ足りず、大学から派遣してもらっておられます。派遣された医師が当病院の勤務医になる例や一度ほかの病院に行っても働きやすさから戻ってくる例もあるほど、仕事の効率化で時間を減らし、有給休暇を取りやすくしていることや研修費の助成や他の病院との連携で勉強の機会を増やすなど、働きやすさや仕事の質の向上を図り、職員の満足度を高めるように努力されています。

医療者は決して給料の良さだけで勤務する病院を選ぶのではなく、そこで働くことで働く意味、やりがい、意義を感じられることが人材を確保する鍵だ、という加藤院長の言葉が印象的でした。

### 〔Ⅲ〕「仁寿会加藤病院」

## 訪問看護・介護24時間サポート 医療近接型住居の建設

## 新しい道を切り開く

はくいし恵子としまねを元気にしようネットワーク  
代表（弁護士）水野 彰子



2007年4月、白石恵子さんは、県議会議員に当選しました。私達が長く待望してきた女性議員誕生の瞬間が、今も目に浮かびます。

その後の3期10余年に及ぶ白石さんの活動は、私たち

の思いをしっかりと受け止めたものでした。

ドメスティック・バイオレンス、性犯罪被害者支援、子どもの貧困など、社会の歪みを受けやすい弱い立場にある方々が抱える問題に取り組む、労働者が働きやすい環境の整備を訴え、教育、とりわけ図書館教育の活用など、子どもたちの未来に目を向け、文化や観光で地域を元気にしようと働き掛けるなど、多様な分野において、白石さんは新しい道を切り開いてきました。

そこに見られるのは、人々の声に耳を傾け、これを重んじ、考え、提案し、ひとつひとつ、少しずつ、事態を良い方向

へ変えて行こうと行動する白石さんの一貫した姿勢です。

この姿勢は、10余年間、常に失われることなく、白石さんと共にあり続けました。

長らく、教育、福祉、働く現場に身を置いた白石さんの中に培われたものでしょう。信念だとか信条だとかいう言葉では言い表せない、人として内奥に礎のように築かれたもののように思えます。

この礎を縁に、誰もが健やかに穏やかに暮らすことのできる、島根の今とこれからのために、私達は、自らの声を白石さんに届け、県政に反映させると共に、私達自らも行動し、白石さんと協働していくことが求められています。

### 〔Ⅱ〕「島根あさひ社会復帰促進センター」

## 官民共同運営・社会復帰は93・4%

4月24日に島根あさひ社会復帰促進センターを視察しました。平成10年運営開始で今年10周年を迎えます。収容者は初犯で刑期8年未満の犯罪傾向が進んでいない受刑者で、現在1,386名が収容されています。

全国でも珍しい官民協働の運営方式で、「地域の力」、「国の経験」と「民間のノウハウ」が融合した「社会復帰支援コミュニティ」、島根あさひモデルとして受刑者の真の改善更生と円滑な社会復帰を目指し、従来の刑務所より受刑者の自由度が高く、一般社会に近い生活ができるよう工夫されています。

民間との協働としては、神楽面や石州和紙、石見焼の陶器を地元の福祉会和紙工房、窯元の協力で実施、また農作業は、浜田市が所有する農業団地の一部を借り受け、受刑者30名程度で、地元の営農者から指導を受けています。

改善更生のため、欧米で実績のある教育プログラムを取り入れたり、自己肯定や他者への思いやりが培われる指導犬になる子犬を育てる「パイ」育成プログラムを実施。在所中に企業面接も受けられるなど社会に出てからの定着と再犯防止を目指しておられました。

ノルウェーでは自由度の高い刑務所があり、再犯率が低いと聞いていました。が、あさひ社会復帰促進センターでは出所後5年で見ると再入所は17・7%（全国平均より低い）で、ある程度自由度が高い方が再犯率は低いとのことでした。社会復帰率も93・4%とかなり高いです。

誰も罪を犯すために生まれてくるわけではないのですから、一度失敗してもやり直せる社会であるためにこのような社会復帰促進センターがもっと多く作られるといいと思います。



本人・家族の心構えを支援するアドバンスケアプランニングの普及・啓発に取り組みされています。

また災害医療体制整備という観点からドクターカーを配備し、通常は巡回診療、特定健診、特定保健指導に活用。地域支援として大田市、美郷町、近隣の福祉法人施設等に医師を派遣（年間53日以上）されています。

「すまい」にも手を伸ばされ、病院の近くに医療近接型住居「穩」を最近建設、退院してすぐに自宅にはなく、病院の近くに居住してリハビリなどに通い、家に帰って生活する自信を付けることを目的とされています。

職員の働く環境としても優れていて、次世代育成支援対策高水準事業所プラチナくるみん、「ホワイト企業」や若者雇用優良事業所ユースエールにも認定されています。

仁寿会の職員数は、220人。常勤医師数は11人ですがまだ足りず、大学から派遣してもらっておられます。派遣された医師が当病院の勤務医になる例や一度ほかの病院に行っても働きやすさから戻ってくる例もあるほど、仕事の効率化で時間を減らし、有給休暇を取りやすくしていることや研修費の助成や他の病院との連携で勉強の機会を増やすなど、働きやすさや仕事の質の向上を図り、職員の満足度を高めるように努力されています。

医療者は決して給料の良さだけで勤務する病院を選ぶのではなく、そこで働くことで働く意味、やりがい、意義を感じられることが人材を確保する鍵だ、という加藤院長の言葉が印象的でした。



島根電工訪問から

3月、会派の研修の一環として島根電工を訪問し、荒木恭司社長にお話を伺いました。島根電工は有名な坂本光司法政大



で一緒に話している、常日頃お話を聞いていたが「社員とその家族の幸せが一番」

「働き方改革」は「社員と家族の幸せ」から
「働き方改革は何のためにするのか？社員とその家族の為に」

デートレイプドラッグと性暴力被害者支援センター「さひめ」

6月議会での「デートレイプドラッグ」についての質問のきっかけは、2017年、ジャーナリストの伊藤詩織さんが勇気を持って記者会見し、ドラッグを使っ

性暴力被害者の支援体制を急いで！

性暴力被害者支援センター「さひめ」は発足4年。設立に尽力されたK医師は勤務医時代、数少ない女性産婦人科医

性暴力被害者支援センター「さひめ」は発足4年。設立に尽力されたK医師は勤務医時代、数少ない女性産婦人科医

性暴力被害者支援センター「さひめ」は発足4年。設立に尽力されたK医師は勤務医時代、数少ない女性産婦人科医

ら、起こってしまった場合、どうしても助けを得ることができないか」を伝えたくて、書いたと述べられています。

実際に、間から間に葬られてしまふこの種の事件は、身近な問題と感ぜられないかもしれない

証拠採取・保存ができるよう検査・保存機器を備えて準備しています。しかし、警察との綿密な協議がされていないため

大田地震

半壊・一部損壊援助の恒久化実現

4月12日、気持の悪い揺れで目を覚まし

に大きな被害を出し、鳥居の倒壊や土砂崩れ、断水が起きました。

もう少しは落ち着いたかと思われ、4月22日に大田市役所にお見舞いに行き、被害の様子を調査しまし

市長は「最初は倒壊した家屋もなく、死者もいなかったのが安心していたが、調査が進むにつれ被害が拡大している。今後の教訓として、見えない被害があることも考えてほしい。」と仰っていました。



有名な三瓶のジンギスカンの店の被害はひどく、一時はもう再建はできないと思われたそうですが、幸い近所の店舗を貸して

当初は災害救助法の対象にもならなかったため災害支援金の募集も出来なく、ふるさと納税が頼り

しかし堤防に関して言えば、人が住んでいるところは守らないといけないが、畑も堤防で囲んでしまふと今までのような品質の良いゴボウはできなくなる。50年に1度の災害は仕方ないと思ってるので、所得保障は希望するが、堤防の築き方は考えて欲しい」と話しておられました。

江の川水害 堤防とダム放流が課題

4月の西部大田市の地震被害が、少し落ち着いた5月6日、今度は梅雨末期の線状降水帯が中国山地から広島、岡山側に居座った事により江の川沿いに水害の被害が発生しました。

一転猛暑になった15日、立憲民主党代表の枝野幸雄氏、島根県連代表代行の石橋参議院議員の随行で、江津市桜江町の災害状況調査に行きました。

昭和47年の大水害以降、江の川沿いでは宮々と堤防の建設を進めてきましたが、40年経った今でも100%ではなく未整備の所があります。今回は未整備箇所や、逆に整備されて流れが速くなり、



ておられました。また、田津地区でゴボウを栽培されている男性は「一紀伊國屋で1本3000〜4000円するゴボウを作っている。次の日収穫の予定だったので700万ぐらいの被害。

安全な生活の為に、堤防は必要。どう築堤するかは、よく話し合っ

安全な生活の為に、堤防は必要。どう築堤するかは、よく話し合っ

安全な生活の為に、堤防は必要。どう築堤するかは、よく話し合っ